

6 学校質問調査結果から見える学校の取組状況

ふくしま学力調査では、児童生徒質問調査に加え、学校質問調査も行っています。ここでは、令和5年度調査から令和7年度調査までの3年分の回答状況を基に、児童生徒の学力向上、教員の授業改善に向けた学校の取組状況について整理しています。県全体の結果と自校の状況を比較し、今後力を入れたい取組や改善を図りたい取組などを考える参考にしてください。

なお、学校質問調査は、昨年度の状況について回答していますので、グラフは令和4年度から令和6年度までの取組の経年推移となっています。

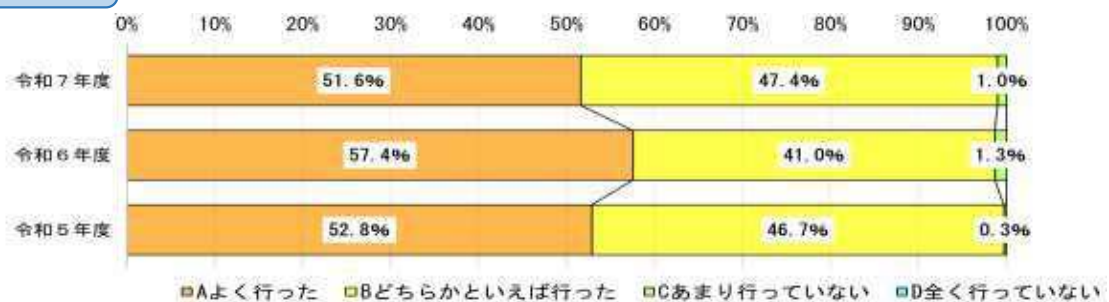
(1) 学校・教職員の学力向上に向けた取組状況

- 小中学校とも、3年間で肯定的回答が増加している。
- 各学校において、校長のリーダーシップの下、学校の現状等について教職員間で話し合う機会を設ける等の組織的対応がなされている。また、授業研究に意欲を持って積極的に取り組む学校が増えている。中学校では割合の増加傾向が見られた。
- 校長が教員の授業を見て回る頻度について等、小中学校で肯定的回答に差がある質問項目があり、小中で取組が繋がっていない校区がある可能性がある。

- ◎ 現状をしっかりと分析し、校長のリーダーシップの下、組織的に対応することが重要である。(①②③④⑤⑩など)
- ◎ 教員同士の相互研究等を活性化することが授業改善につながると考えられる。(⑥⑦⑧⑨など)
- ◎ 児童生徒の自己肯定感を高める取組が主体的な学びにつながると考えられる。(⑪⑫など)
- ◎ 小中学校において取組に差がないか確認し、必要に応じて中学校区で共通実践をしていくことが重要である。(⑥⑧⑫⑬など)

①『児童生徒の学力について、現状把握と分析を行い、課題を把握しましたか』

小学校

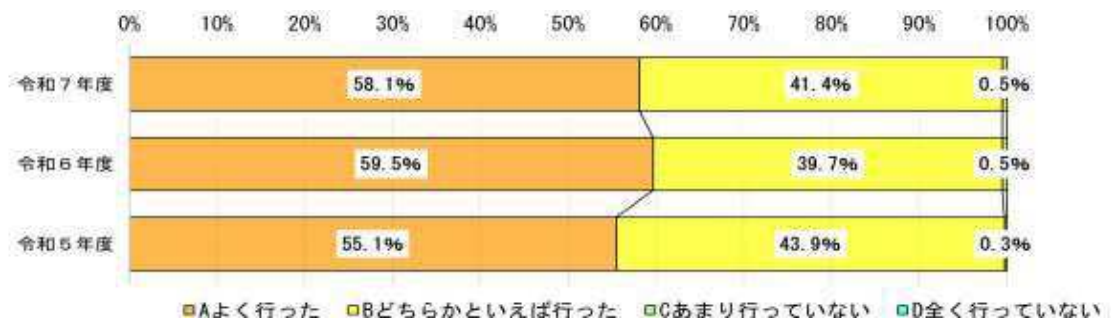


中学校



②『授業改善の必要性について、共通理解を図りましたか』

小学校

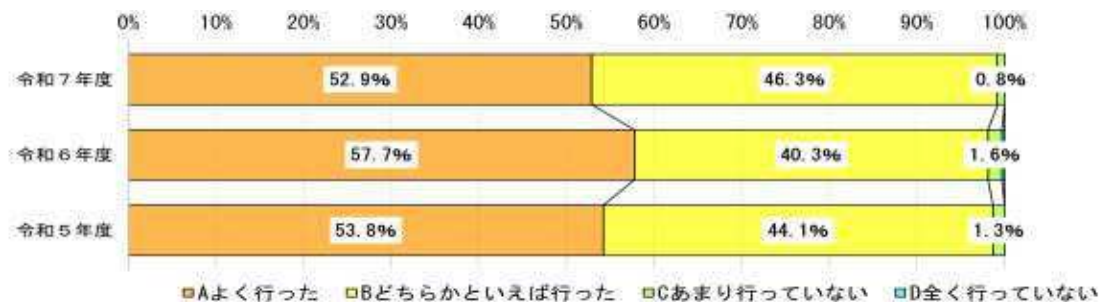


中学校

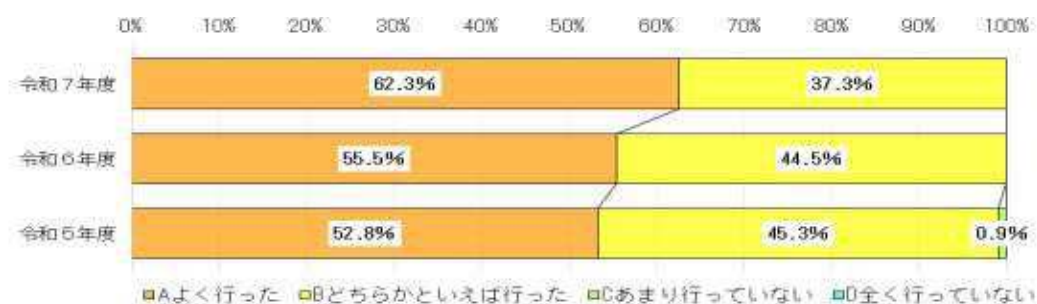


③『学校の課題を明確化した上で、目標を重点化しましたか』

小学校

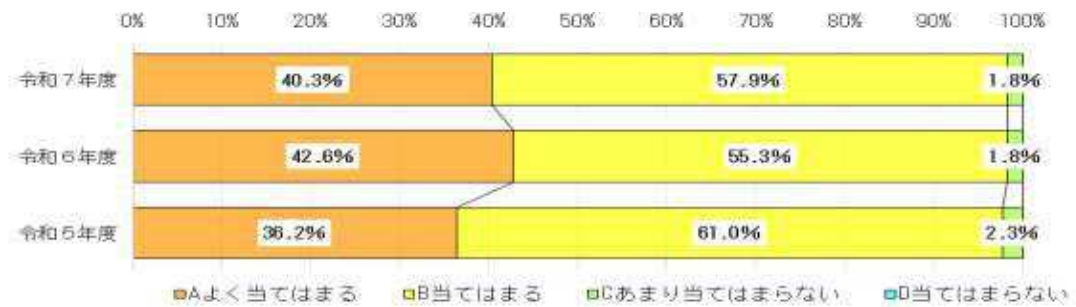


中学校

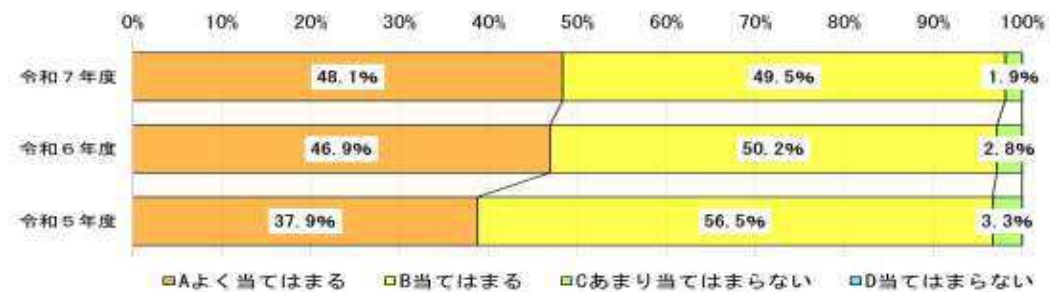


④『目標達成に向けて、学校の組織的な取組や教職員の具体的な行動が示されていましたか』

小学校

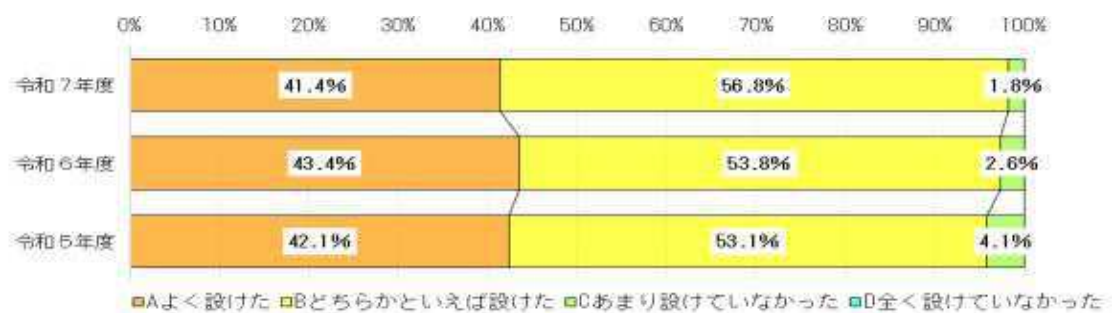


中学校

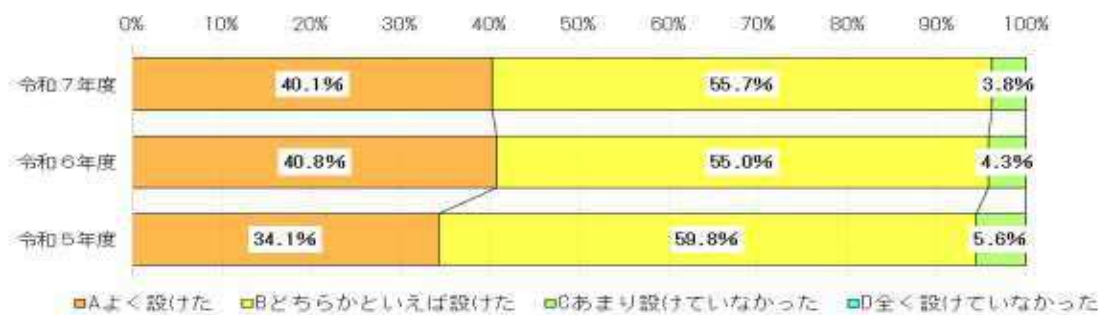


⑤『学校の現状・分析・課題等について、教職員の間で話し合う機会を設けましたか』

小学校



中学校

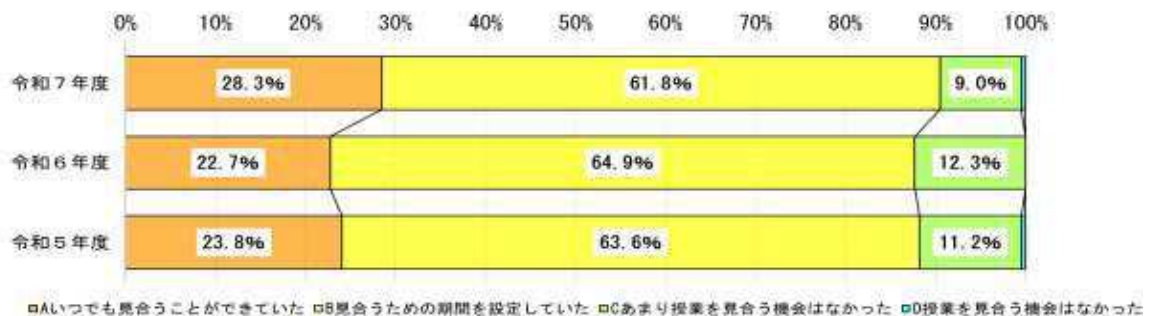


⑥『校内で教員同士が授業を見合う機会がありましたか』

小学校

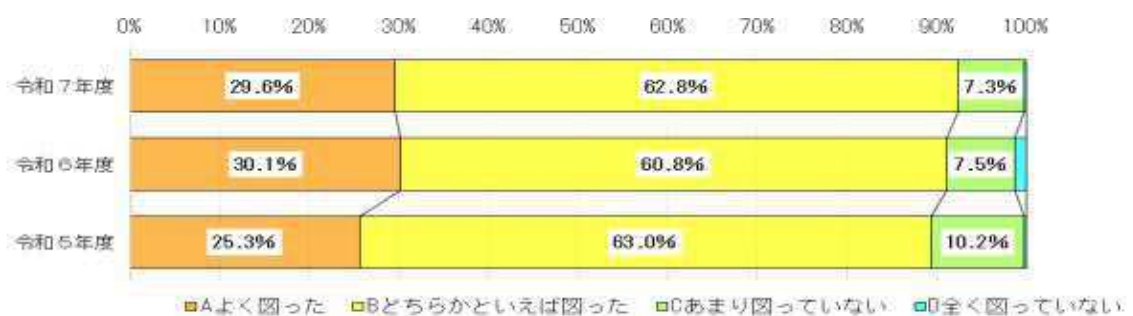


中学校

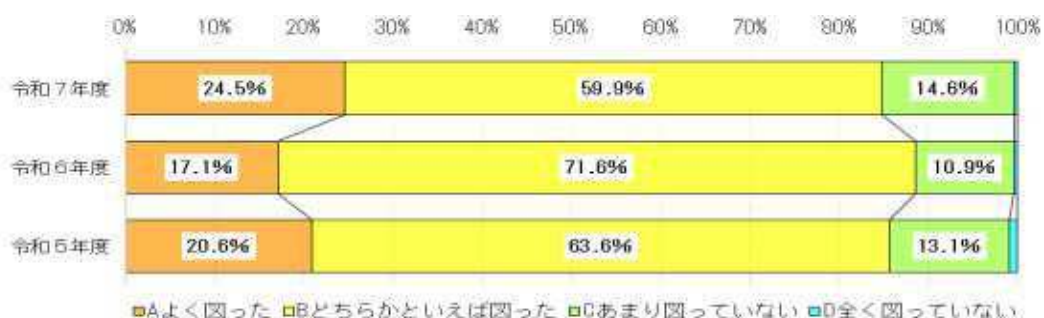


⑦『教科等を相互に関連付けて思考力、判断力、表現力等を育む指導について、教職員で共通理解を図りましたか』

小学校



中学校

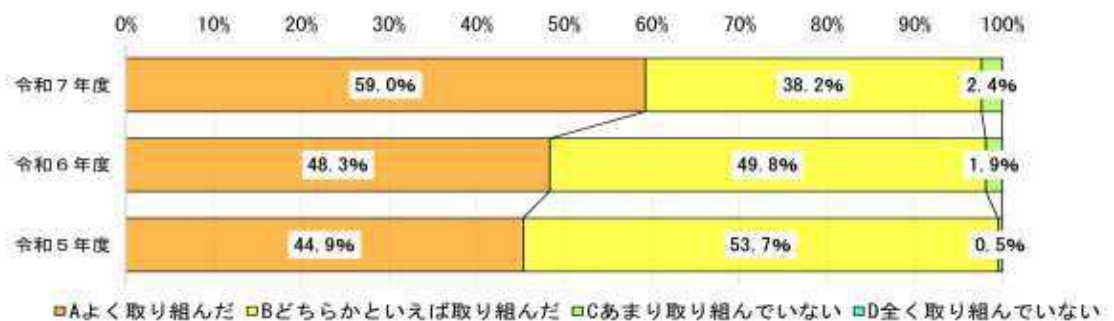


⑧『教職員は、授業研究に意欲を持って取り組んでいましたか』

小学校

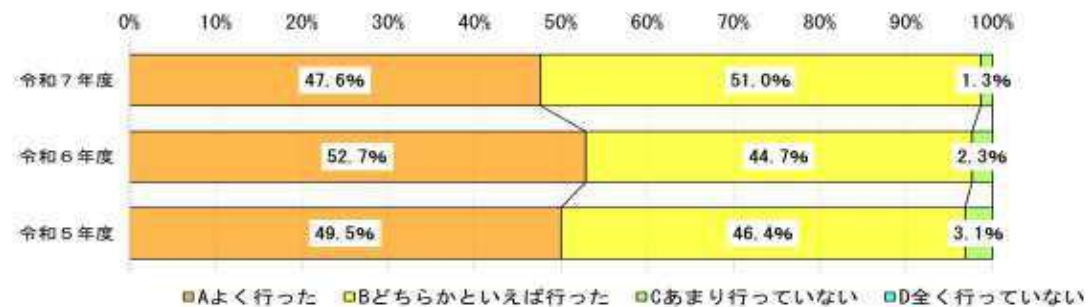


中学校

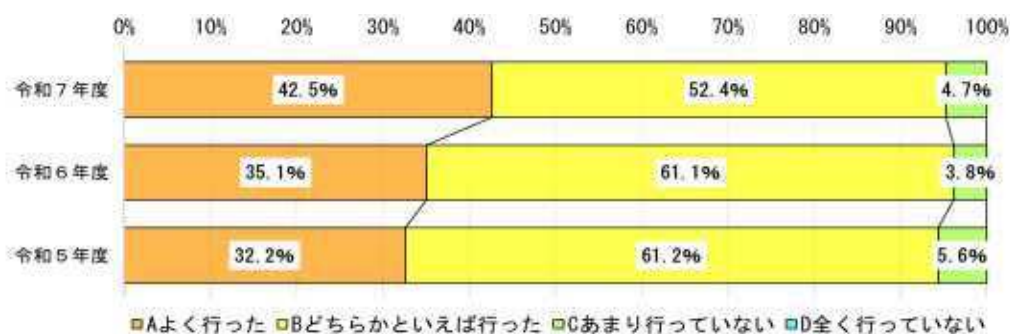


⑨『教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていましたか』

小学校

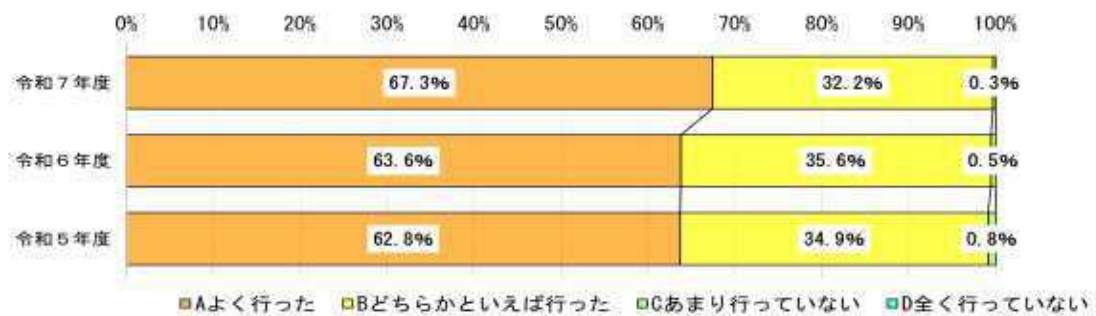


中学校

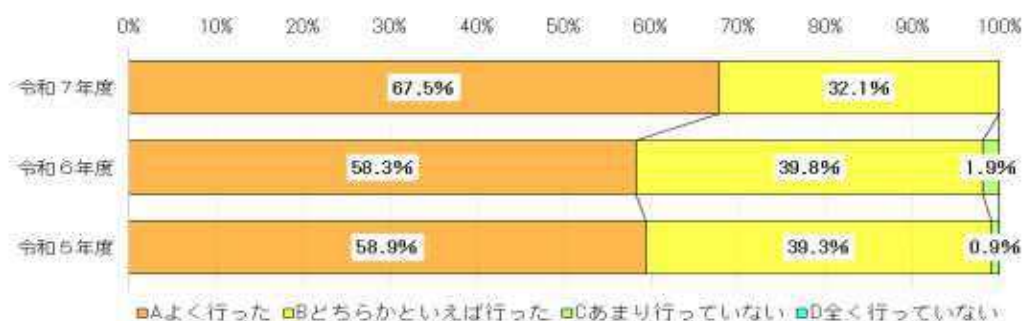


⑩『学級・学年運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組みましたか』

小学校

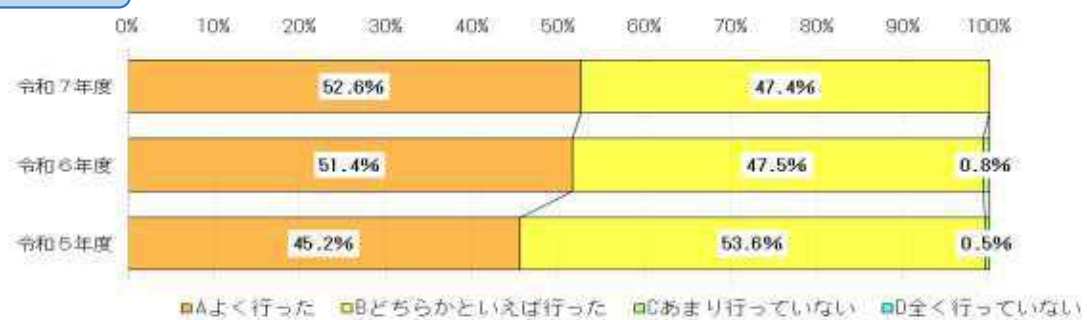


中学校

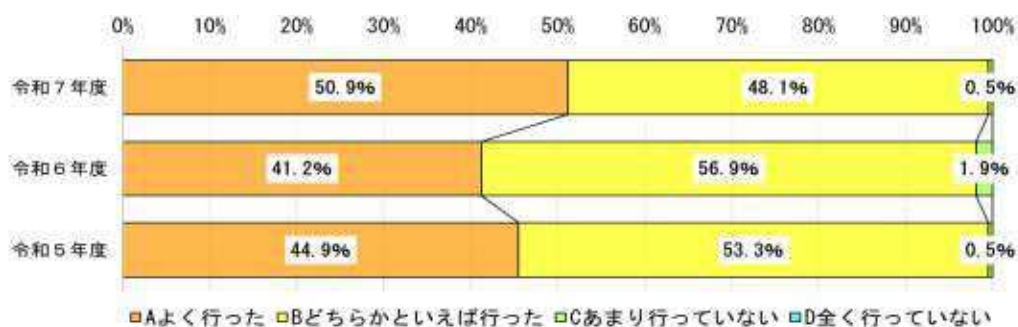


⑪『児童生徒に対して、自分のよさや成長を実感させるような具体的な活動を行いましたか』

小学校



中学校

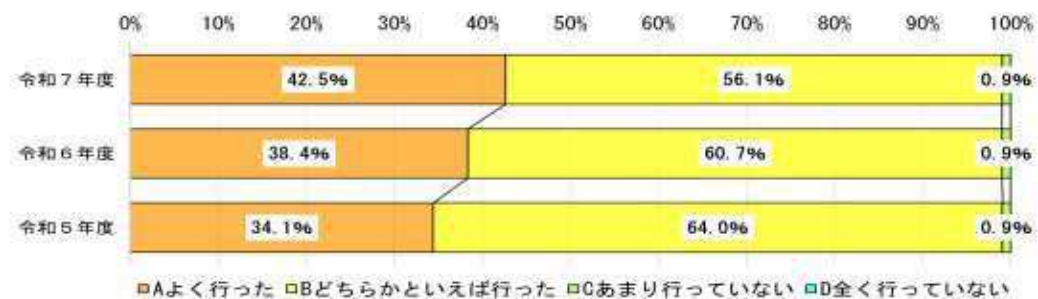


⑫『児童生徒に対して、将来就きたい仕事や夢について考えさせるような具体的な活動を行いましたか』

小学校



中学校



⑬『(校長として) 教員の授業の様子をどの程度見てまわりましたか』

小学校



中学校

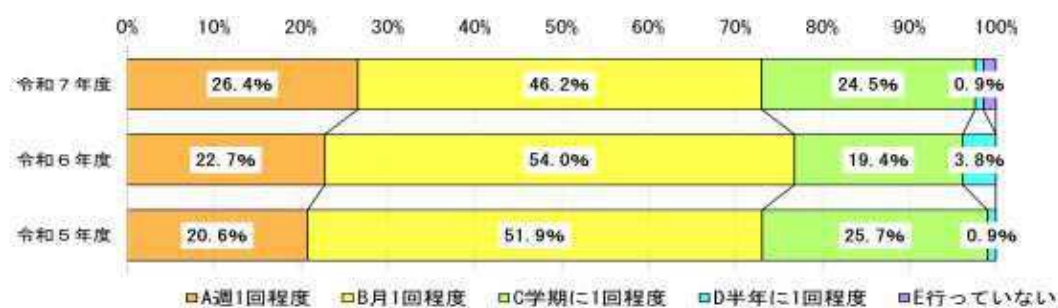


⑭『（校長として）授業改善をするために、教員間で話し合うような働きかけをどの程度行いましたか』

小学校

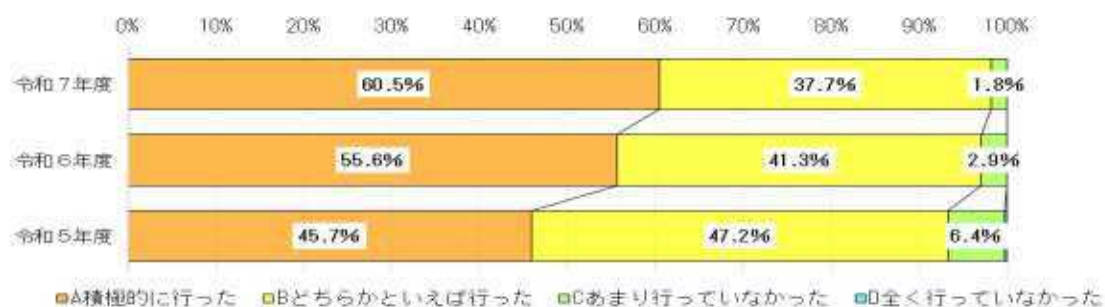


中学校

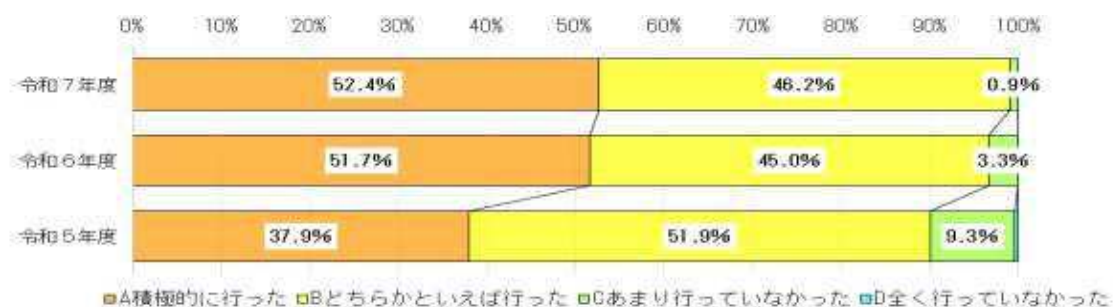


⑮『（校長として）校外での研修の参加を奨励しましたか』

小学校



中学校



(2) 令和7年度の小学校6年生、中学校3年生に対する取組状況

県では、8月に令和7年度全国学力・学習状況調査の結果を「授業改善グランドデザイン」として公表しました。今回の調査対象であった小学校6年生と中学校3年生の取組をピックアップし、ふくしま学力調査の学校質問調査回答結果から見ていきます。小中学校の取組状況の違いにも着目して御覧ください。



※授業改善グランドデザインは県教育委員会 HP に掲載されています。

URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/707805.pdf>

- ほとんどの学校で、家庭学習の課題を計画的に与える取組が継続的に行われている。
- 家庭学習の課題についての評価・指導が計画的かつ継続的に行われている。
- 学習規律の確保の設問について、小学校では肯定的な割合が増えているが、4～5年生になるにつれて否定的な割合も増えている。

- ◎ 児童生徒が熱意をもって主体的に学習できるように、小中連携を重視した授業研究を行っていくことが重要である。家庭学習で取り組む内容については、児童生徒が自らの学びを調整する機会を設け、教師が適切に評価しながら意欲を引き出していく工夫が求められる。
- ◎ 学習規律の確保については、生徒指導の機能を生かした一貫した指導方針のもと、組織をいかした確実な指導の実施と、研修を含めて早期対応が大切である。

【現小学校6年生、中学校3年生に対する国語の状況について】

- ほとんどの学校で、補充的・発展的な学習を行う時間が確保されている。
- 発問や対話を重視した授業が年々増加している。
- 発達段階に応じて、児童生徒に理由をつけて考えを発表させたり、書かせたりする指導を充実させている。

- ◎ どの学年においても、ふくしま学力調査を基に一人一人の実態を分析した上で、今後も補充的・発展的な学習を計画的に取り入れる必要がある。(⑦⑧など)
- ◎ 全ての学年において、教師からの一方通行で画一的な授業ではなく、児童生徒の多様な考えをいかすことができる発問と対話によって、考えを深める授業へ転換していくことが必要である。(⑬など)
- ◎ 授業において根拠や理由を基に、自分の考えを書かせたり、話したりする力を育成するための指導が日常的になされている。(⑩など)

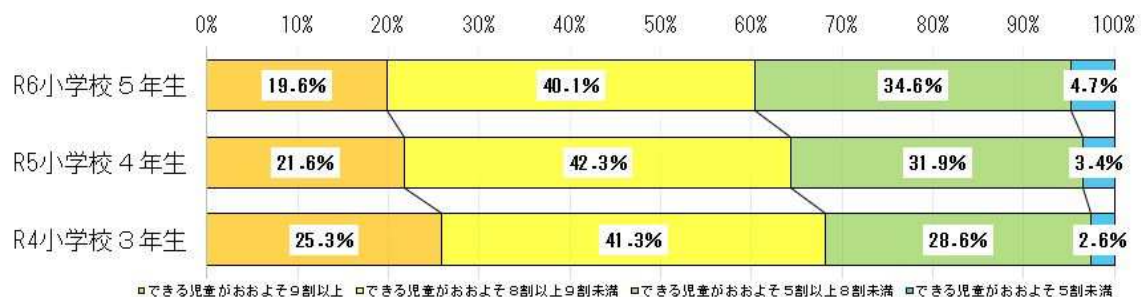
【現小学校6年生、中学校3年生に対する算数・数学の状況について】

- 現小学校6年生に対して、補充的・発展的な学習を行う時間を確保する学校の割合が増加している。
- 継続して、児童生徒に自ら解決の方法を考えさせる発問がなされていた。
- 現小学校6年生に対しては、授業のまとめの場面で、学習した内容をどのように活用できるかを児童に文章等で書かせる授業の割合が増加している。

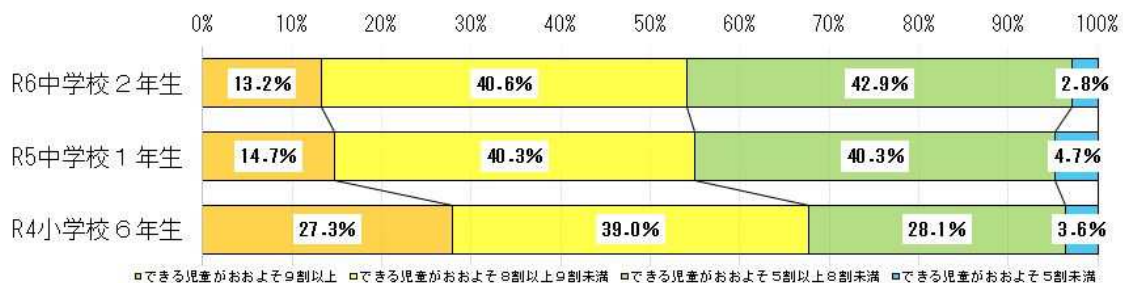
- ◎ どの学年においても、ふくしま学力調査を基に一人一人の実態を分析した上で、今後も補充的・発展的な学習を計画的に取り入れる必要がある。(⑮⑯など)
- ◎ 全ての学年において、児童生徒自ら解決の方法を考えられる発問と対話によって、課題解決に導く授業が積極的に行われる必要がある。(⑳㉑など)
- ◎ 一方的に教授する場面が多すぎないか確認し、教えるべきこと、考えさせるべきことのバランスを考えた授業改善が必要である。(⑱⑲⑳㉑など)

①『児童は熱意をもって勉強することができていましたか』

R7 小学校 6 年生

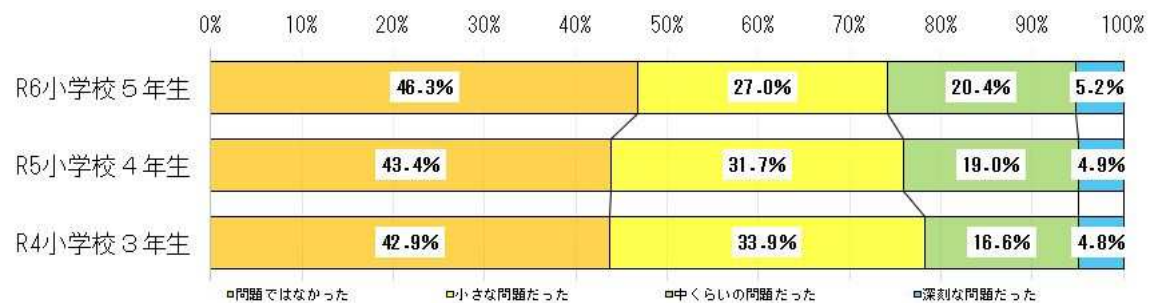


R7 中学校 3 年生

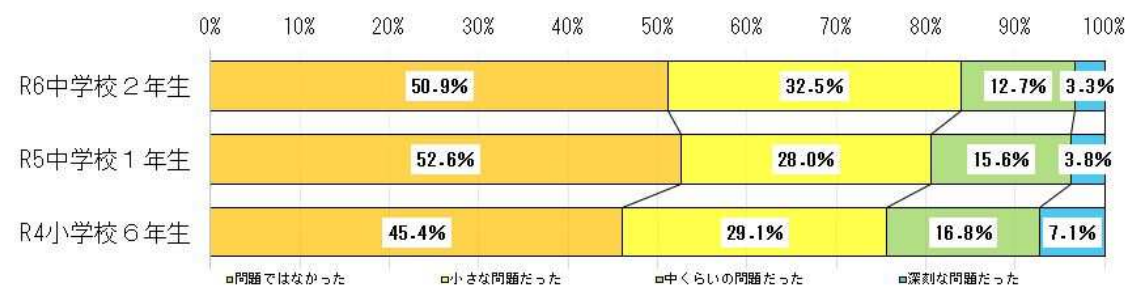


②『学習規律の確保がどのくらい問題になっていましたか』

R7 小学校 6 年生

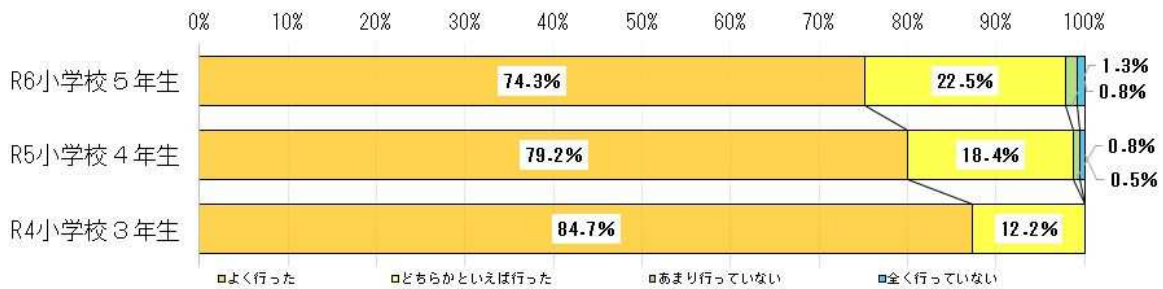


R7 中学校 3 年生



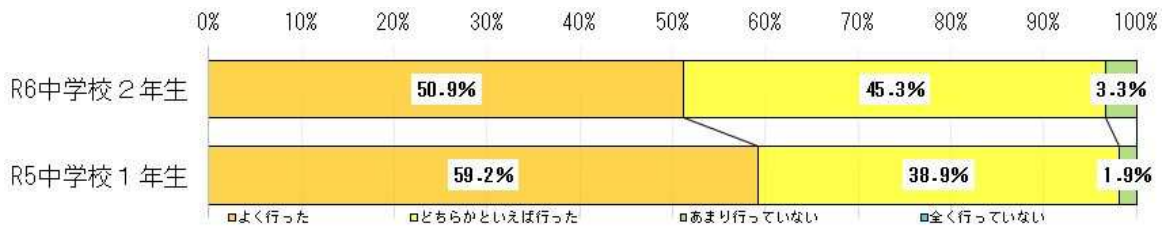
③『家庭学習の課題（宿題）を計画的に与えましたか』

R7 小学校 6 年生



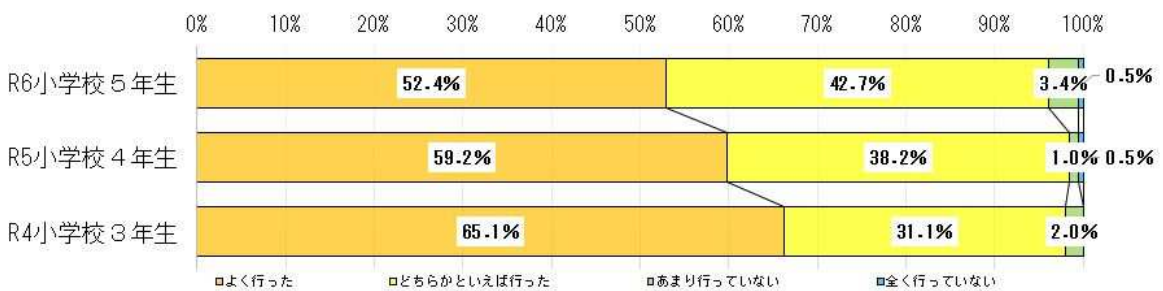
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



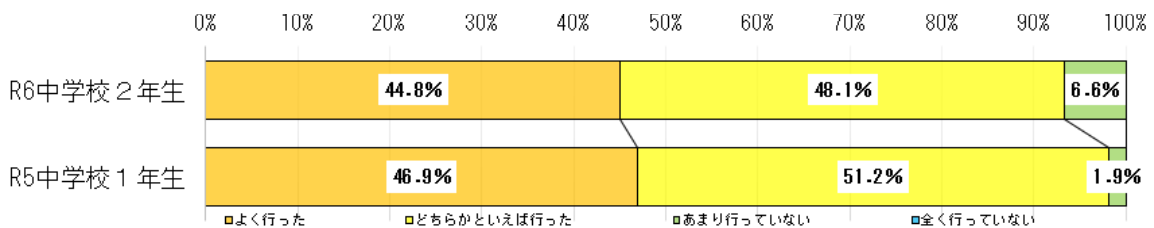
④『与えた家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除きます）についての評価・指導を計画的に行いましたか』

R7 小学校 6 年生



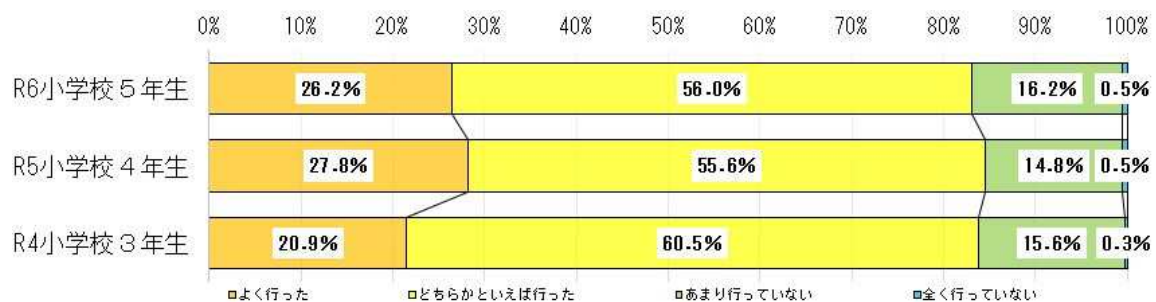
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



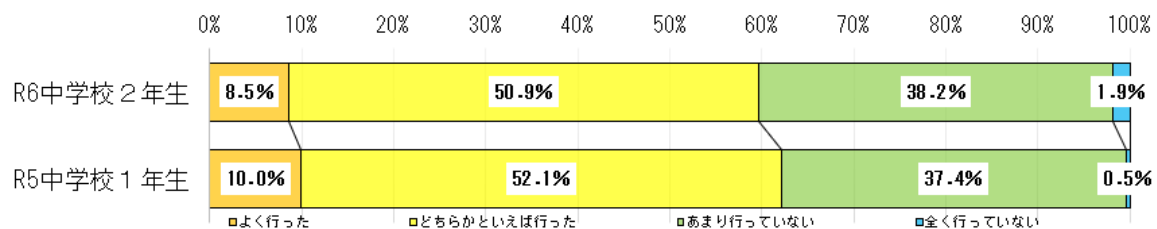
⑤『家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする課題（宿題）を与えましたか』

R7 小学校 6 年生



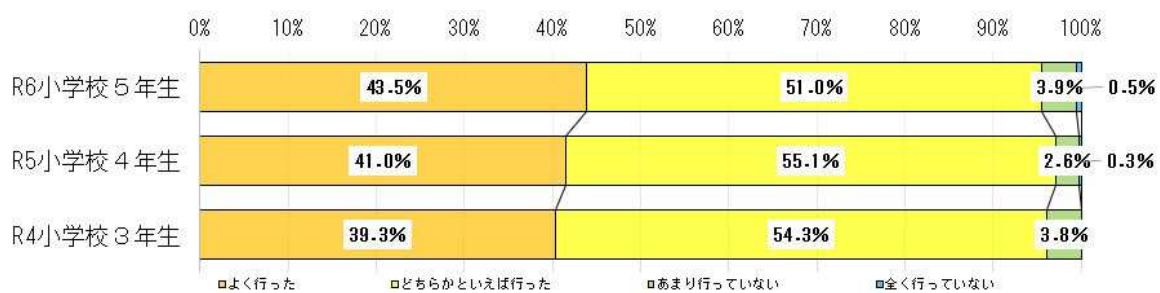
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



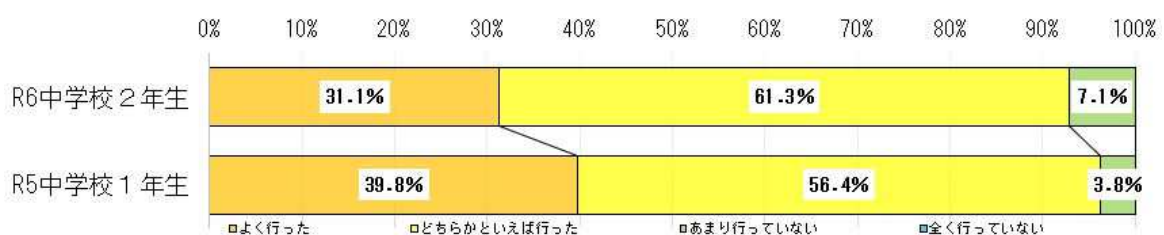
⑥『家庭学習の取組として、家庭での学習方法を具体的な例を挙げながら教えましたか』

R7 小学校 6 年生



R7 中学校 3 年生

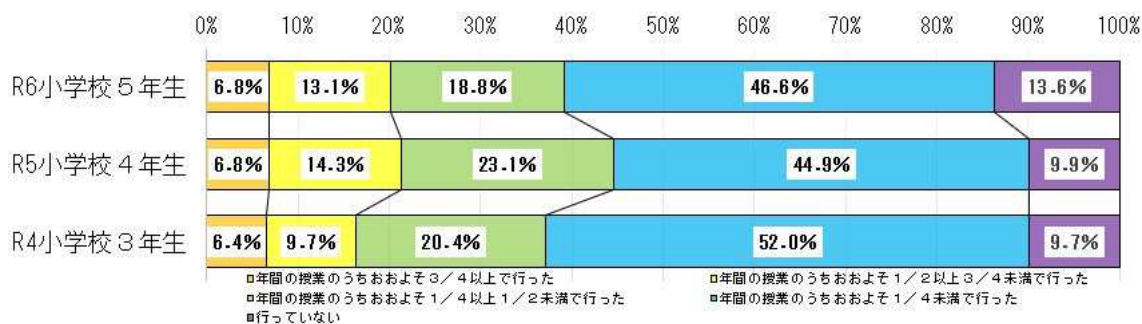
※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



【国語に関する質問】

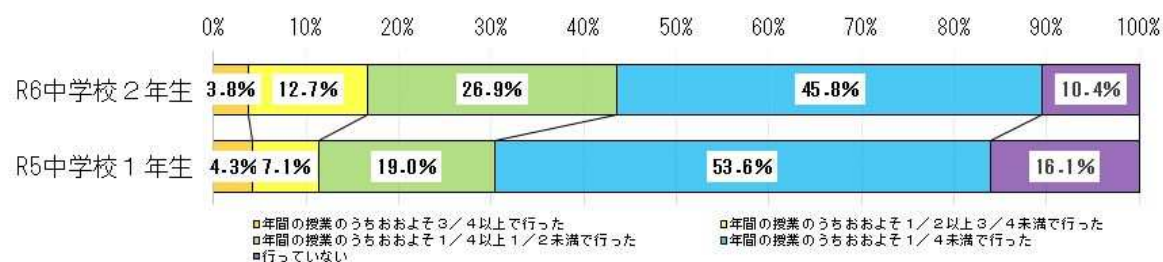
⑦『補充的な学習の指導を計画的に取り入れましたか』

R7 小学校 6 年生



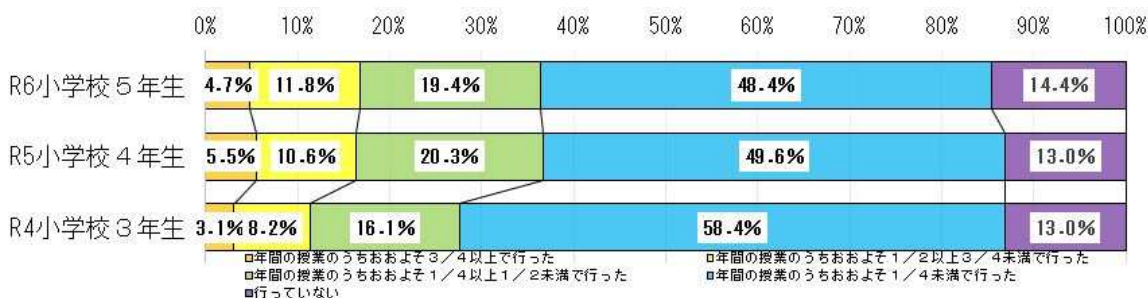
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



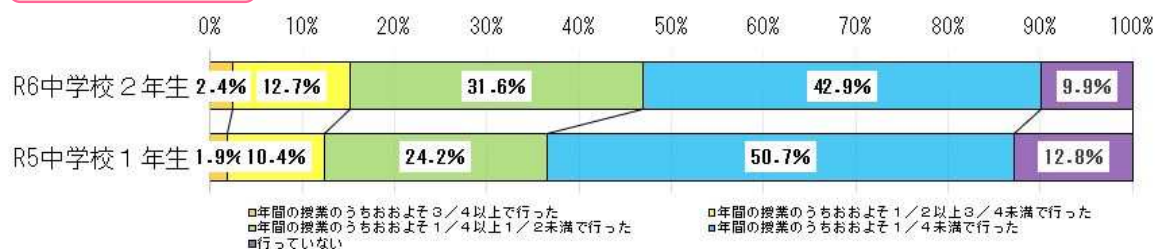
⑧『発展的な学習の指導を計画的に取り入れましたか』

R7 小学校 6 年生



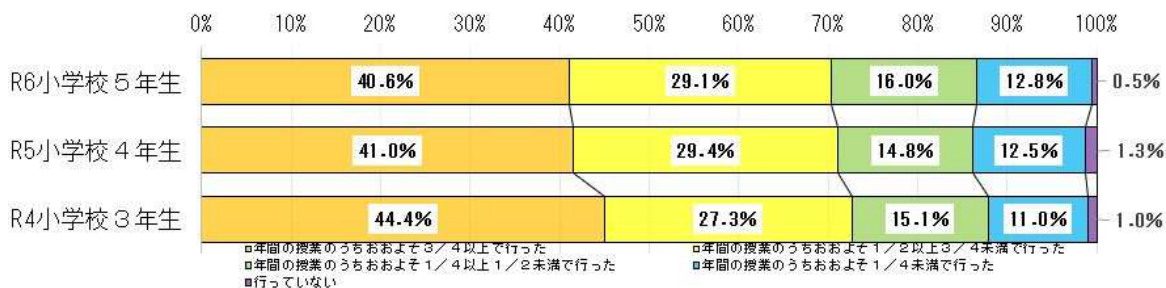
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



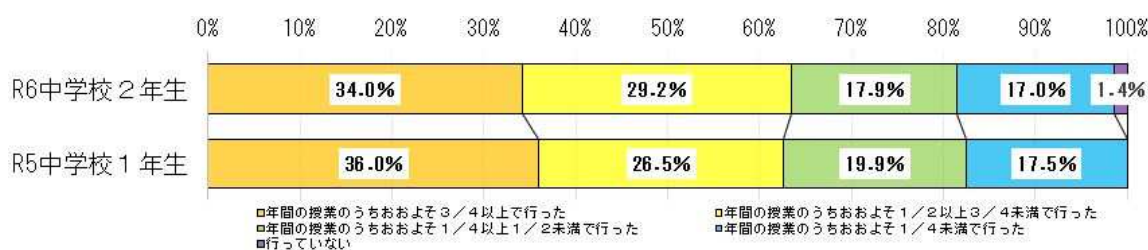
⑨『学習方法（ノートを取り方、間違ったところを振り返って学習すること、目標・計画の立て方、自分をやる気にする方法など）に関する指導を行っていましたか』

R7 小学校 6 年生



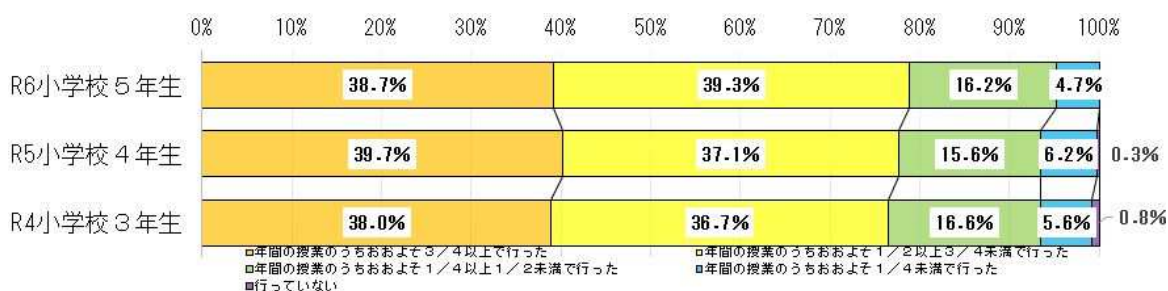
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



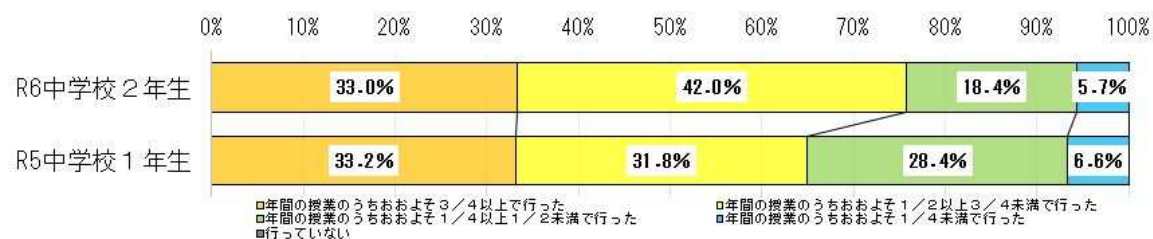
⑩『児童生徒に理由をつけて考えを発表させたり、書かせたりする指導を行っていましたか』

R7 小学校 6 年生



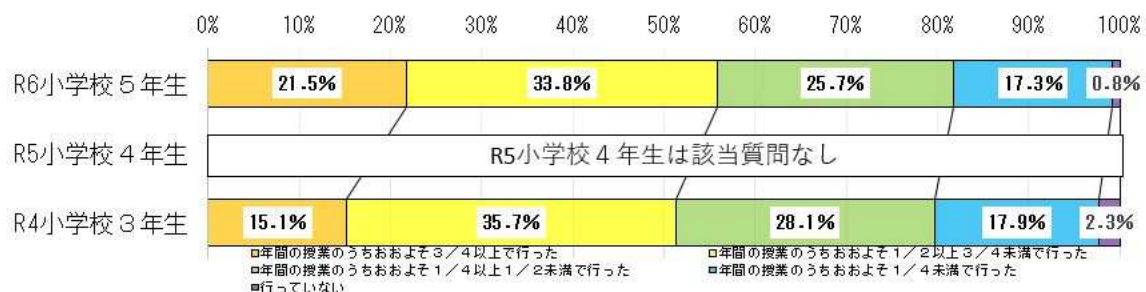
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



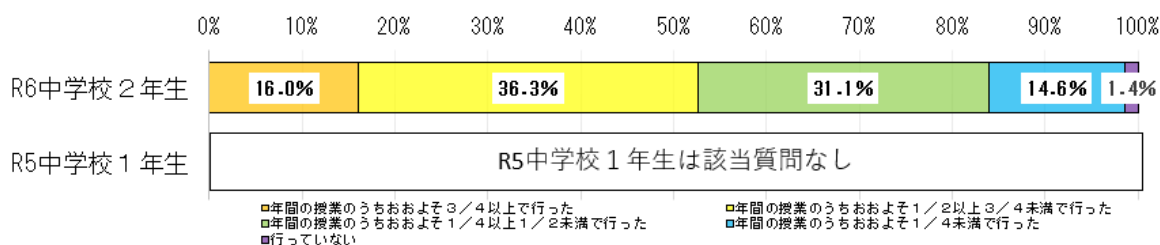
⑪『授業のまとめの場面では、次の授業につながる新たな問いや疑問、学習した内容をどのように活用できるかを児童生徒に書かせましたか』

R7 小学校 6 年生



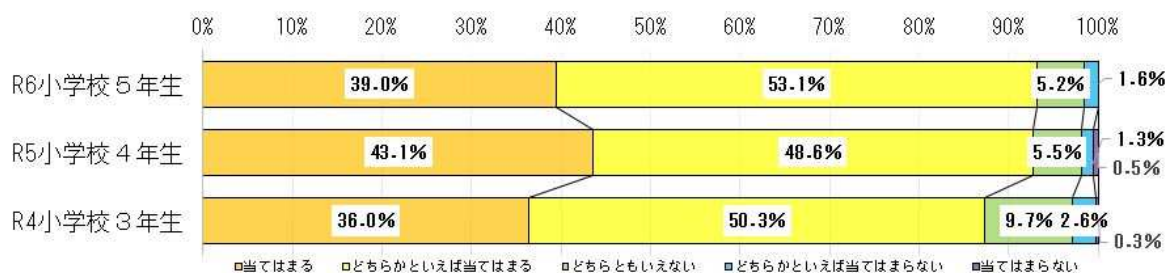
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



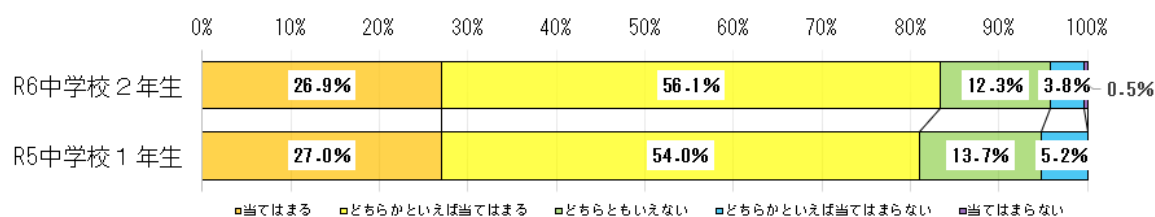
⑫『授業ごとに学習の目標（めあて）を示した後に、児童生徒自ら解決の方法を考えさせる発問をしていましたか』

R7 小学校 6 年生



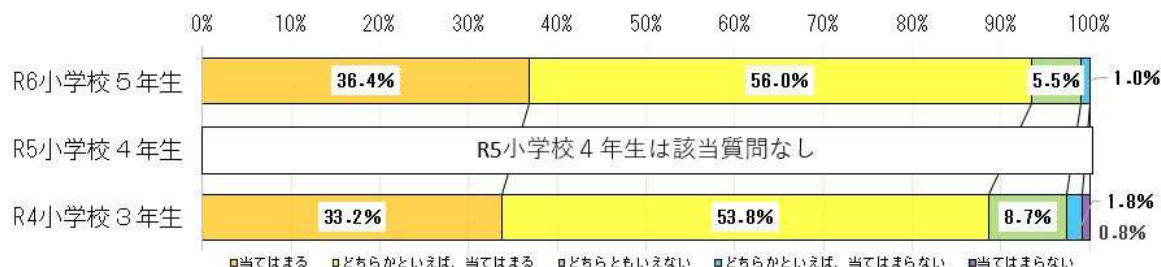
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



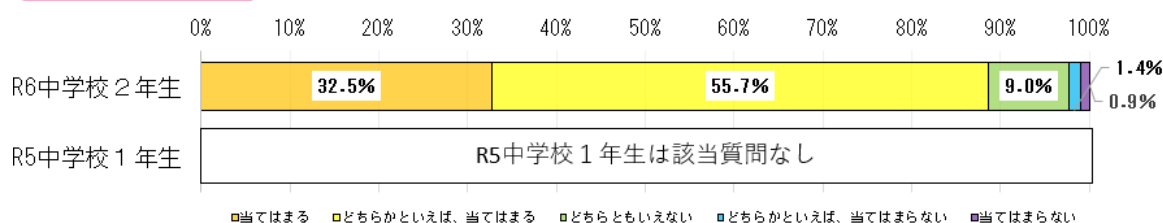
⑬『授業の課題解決の場面では、児童生徒同士が互いの考えを比較検討しながら、他の児童生徒の考えを取り入れて解決させるよう努めていましたか』

R7 小学校 6 年生



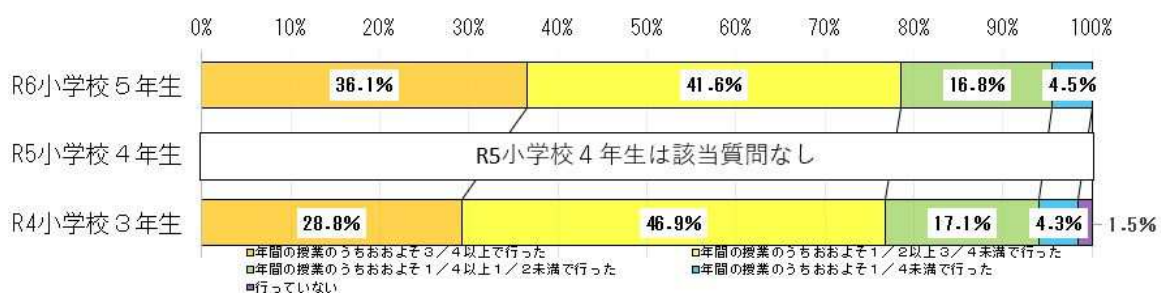
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



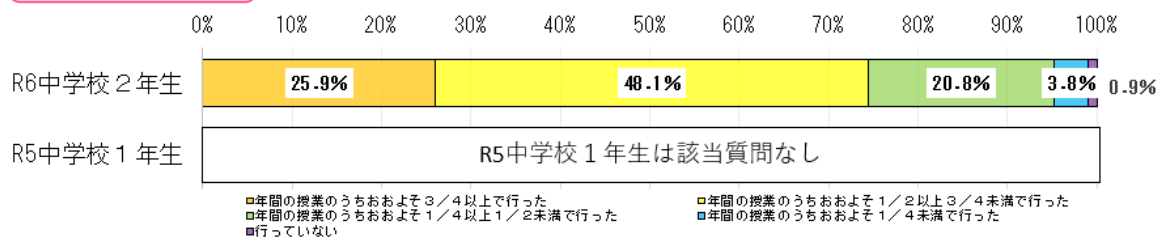
⑭『思考を深める板書（授業の全体像と思考の流れが分かる、振り返りができるなど）を行っていましたか』

R7 小学校 6 年生



R7 中学校 3 年生

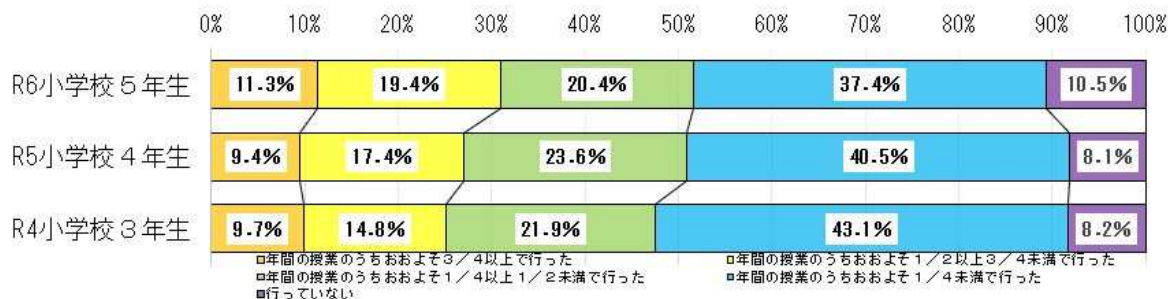
※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



【算数・数学に関する質問】

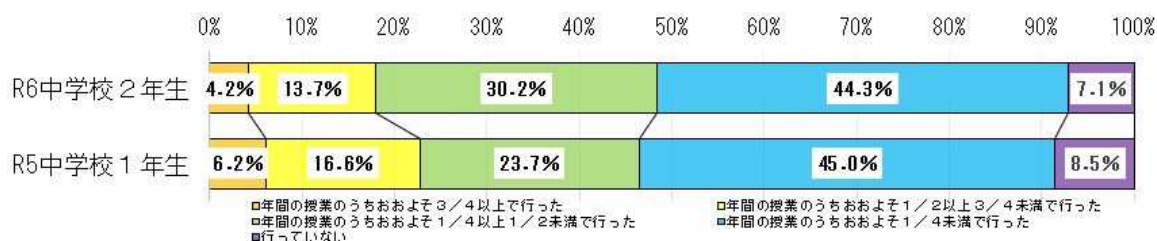
⑮『補充的な学習の指導を計画的に取り入れましたか』

R6 小学校 6 年生



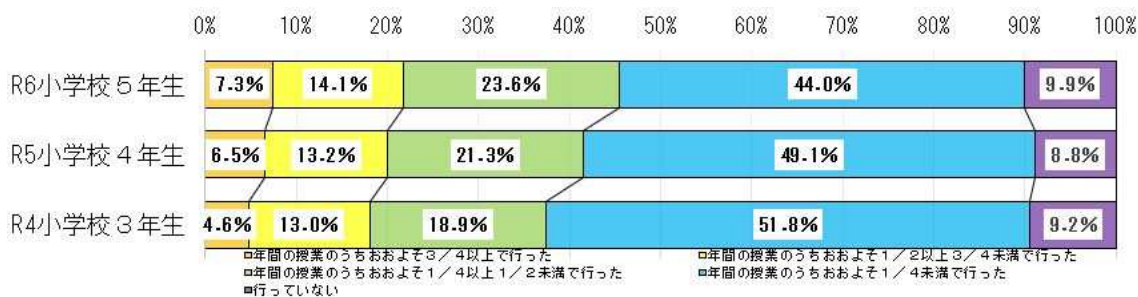
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



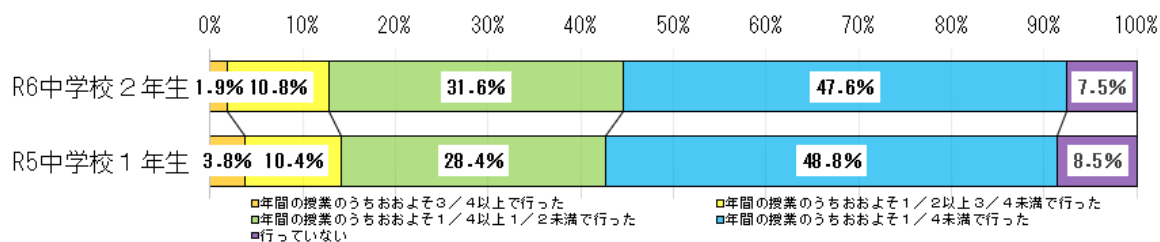
⑯『発展的な学習の指導を計画的に取り入れましたか』

R7 小学校 6 年生



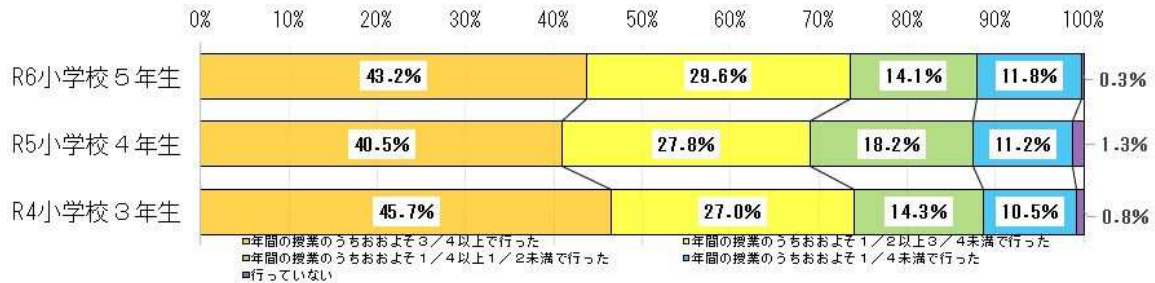
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



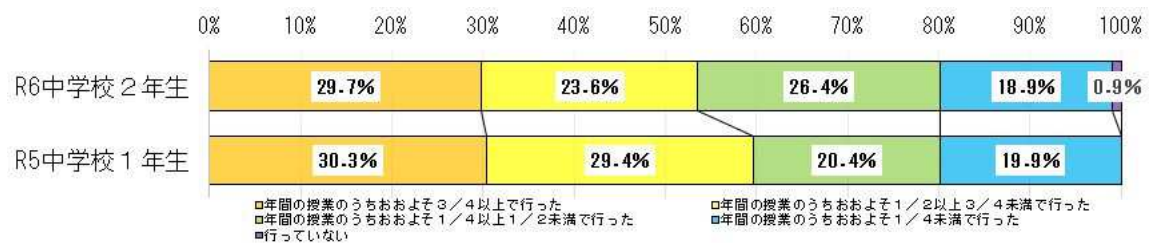
⑪『学習方法（ノートを取り方、間違ったところを振り返って学習すること、目標・計画の立て方、自分をやる気にする方法など）に関する指導を行っていましたか』

R7 小学校 6 年生



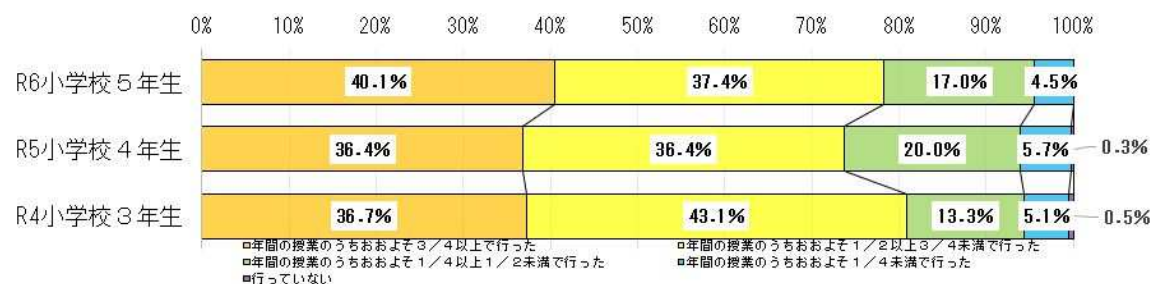
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



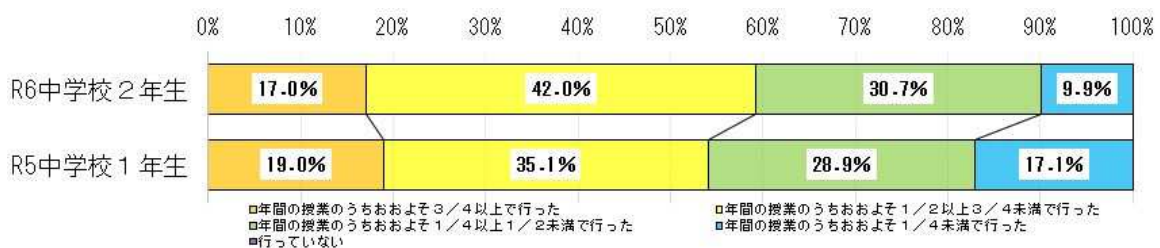
⑫『児童生徒に理由を付けて考えを発表させたり、文章で書かせたり、図やグラフでかかせたりする指導を行っていましたか』

R7 小学校 6 年生



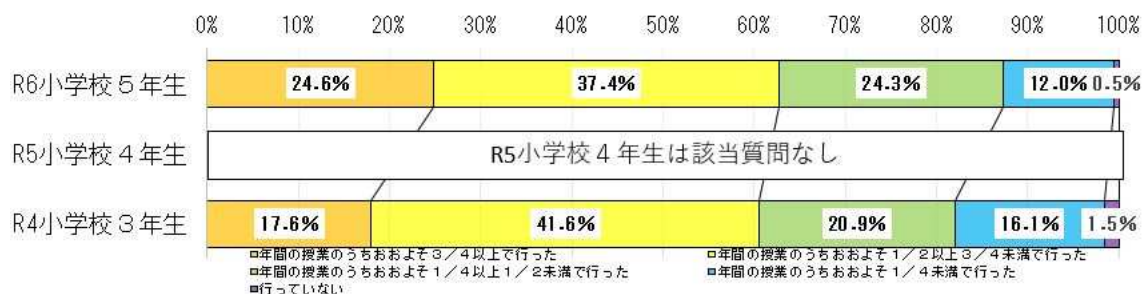
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



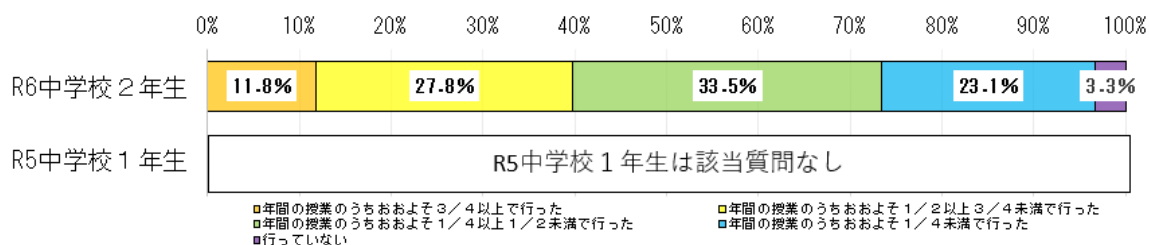
⑱『授業のまとめの場面では、次の授業につながる新たな問いや疑問、学習した内容をどのように活用できるかを児童生徒に文章で書かせたり、図やグラフで書かせたりしましたか』

R7 小学校 6 年生



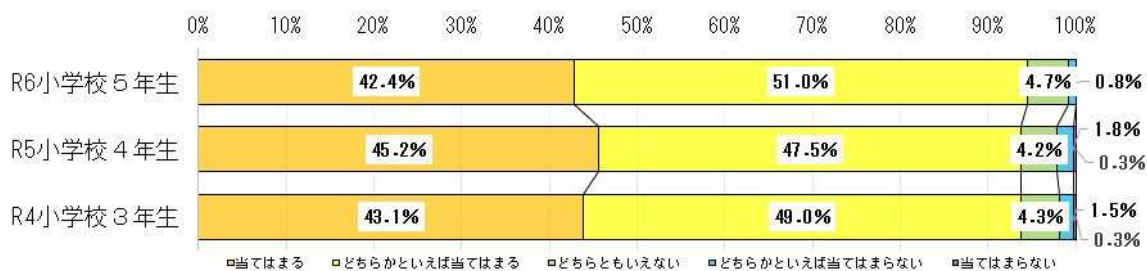
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



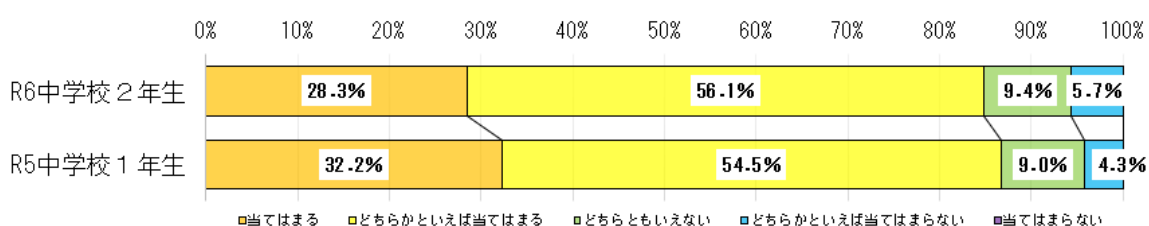
⑳『授業ごとに学習の目標（めあて）を示した後に、児童生徒自ら解決の方法を考えさせる発問をしていましたか』

R7 小学校 6 年生



R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



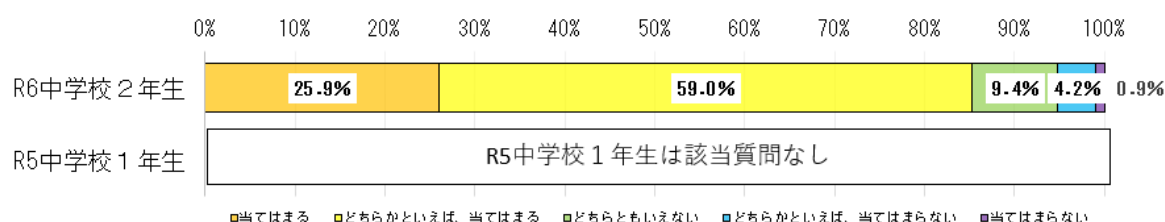
②『授業の課題解決の場面では、児童生徒同士が互いの考えを比較検討しながら、他の児童生徒の考えを取り入れて解決させるよう努めていましたか』

R7 小学校 6 年生



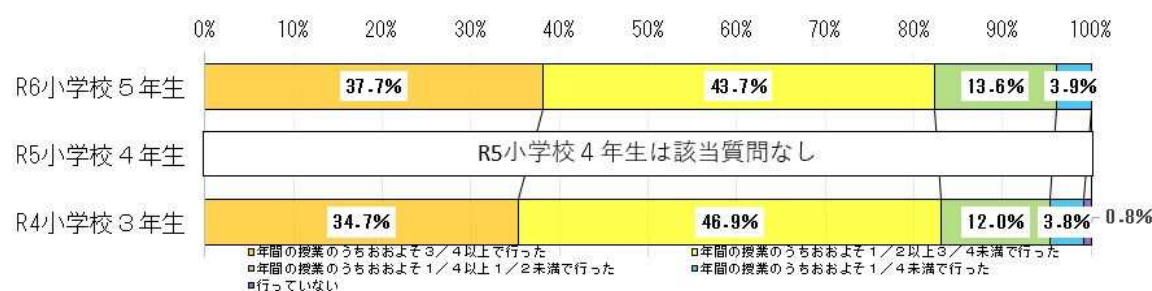
R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



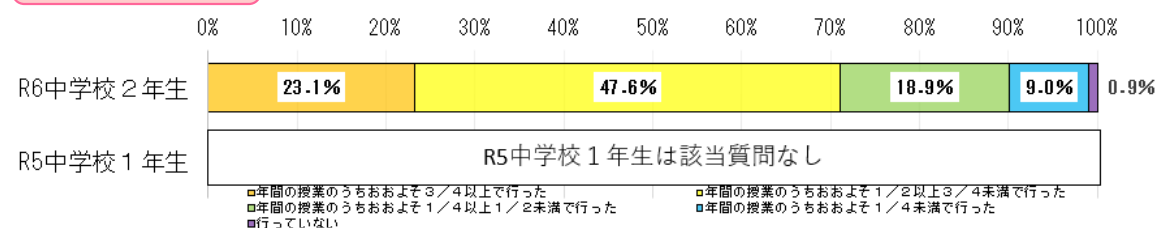
②『思考を深める板書（授業の全体像と思考の流れが分かる、振り返りができるなど）を行っていましたか』

R7 小学校 6 年生



R7 中学校 3 年生

※小学校 6 年生時は該当質問項目なし



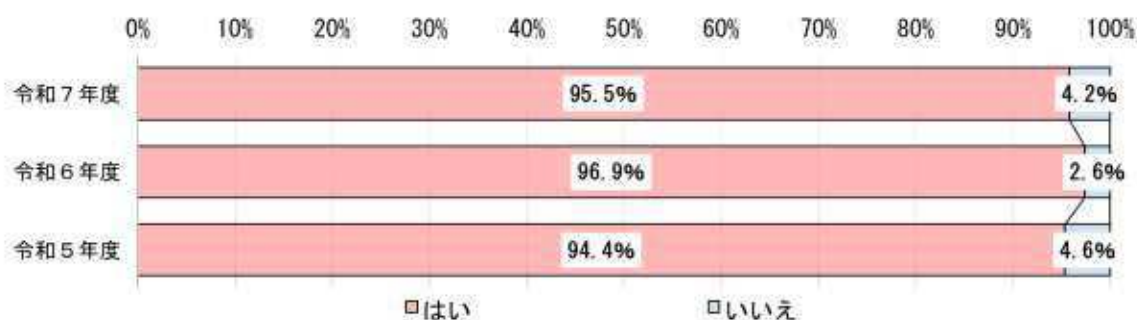
(3) 調査結果の活用状況

- ほぼ全ての学校が、個人結果票を返却する機会を捉え、児童生徒をほめたり、具体的な助言を与えたりしている。
- ほぼ全ての学校が、返却された結果帳票を用いてデータを分析し、指導にいかしている。
- 学力や非認知能力等を大きく伸ばした教員へ聞き取りを行った学校が年々増加している。
- 調査結果から把握した内容について全教員で共有し、具体的な授業改善にいかしている学校が年々増加している。

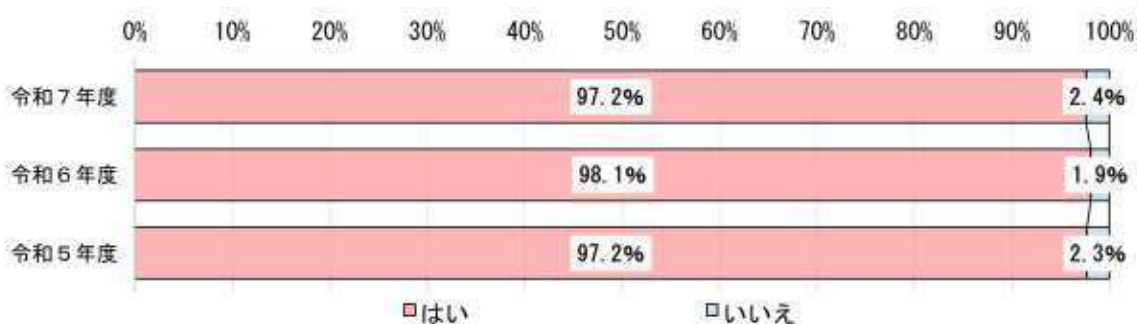
- ◎ ふくしま学力調査の「一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する」という目的について、ほぼ全ての学校が理解し、教育指導や指導計画の改善に活用できていると考えられる。(①②③④⑤⑥)
- ◎ 個人結果票を返却する際は、ほぼ全ての学校が児童生徒をほめ、助言する機会とする学校が多いことから、児童生徒の学習意欲等の向上に役立てることができていると考えられる。(①)
- ◎ データを分析し、エビデンスに基づいて指導改善が進められていると考えられる。管理職、教務主任、学級担任、教科担任、養護教諭など、それぞれの立場に応じた分析がさらに進められることが期待される。(②⑥など)
- ◎ 学力や非認知能力を大きく伸ばした教員の効果的と思われる取組を聞き取り、横展開することによって学校の強みを増やしていくことが期待される。

①『個人結果票を返却する際に、ほめたり、具体的な助言を与えたりしている』

小学校

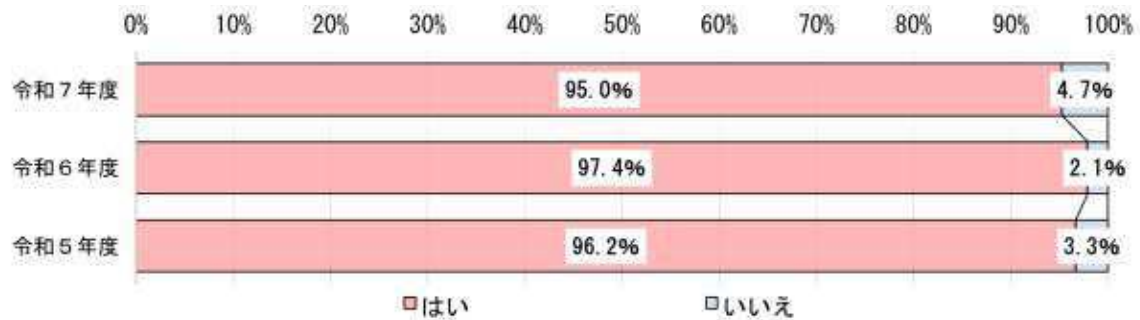


中学校

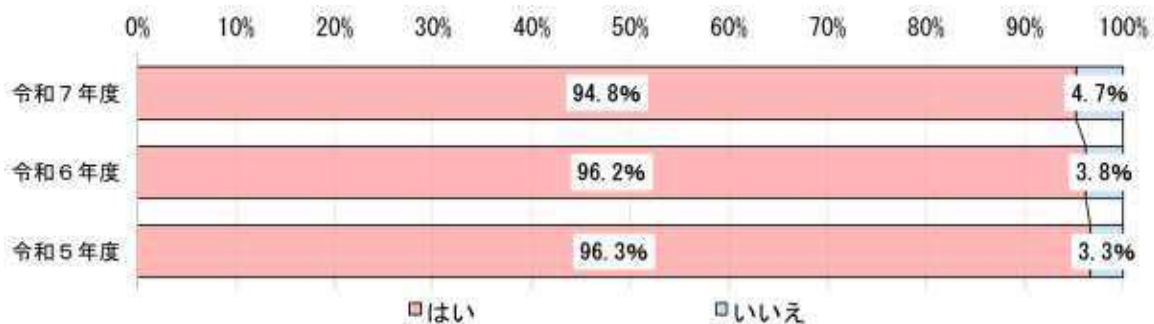


②『返却された結果帳票を用いてデータを分析、活用し、指導にいかしている』

小学校



中学校

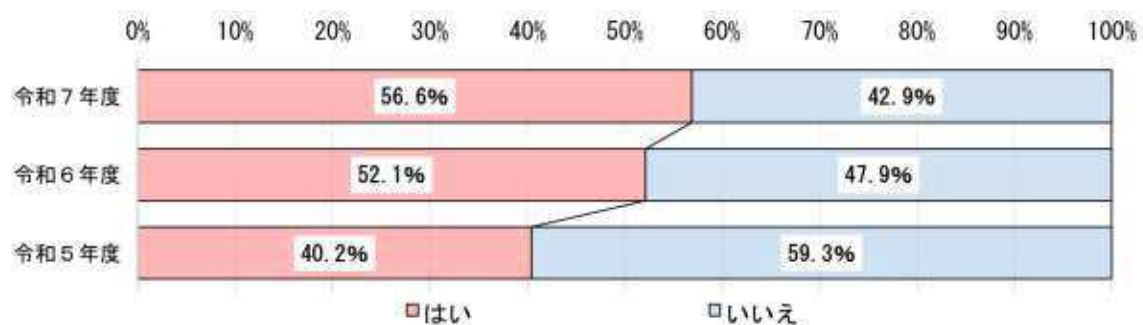


③『学力や非認知能力、学習方略を大きく伸ばした教員から、伸ばした要因等について把握するための聞き取りなどを行った』

小学校



中学校



④『把握した内容について話し合うなどにより、全教員で共有した』

小学校



中学校

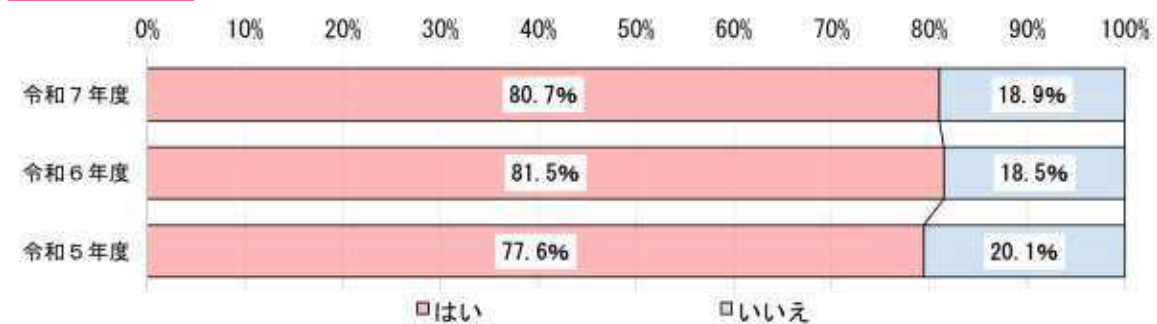


⑤『共有した内容を、具体的な授業改善にいかした』

小学校

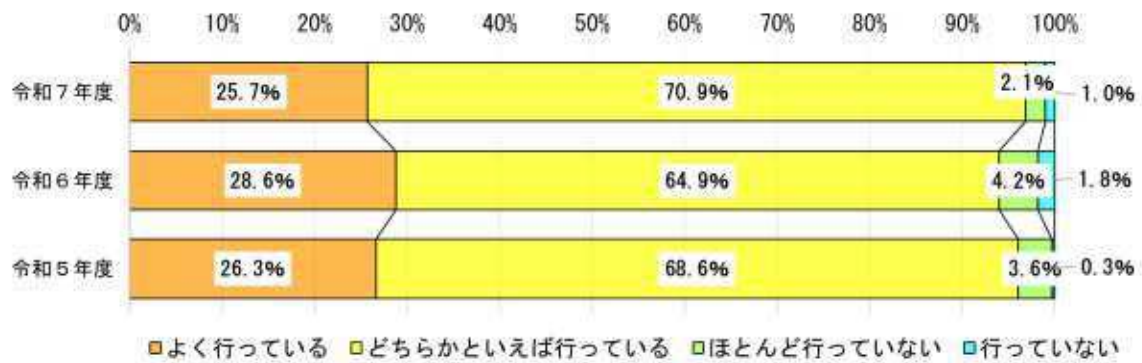


中学校



⑥『県や全国の学力・学習状況調査の結果（過去の調査結果を含む）を分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている』

小学校



中学校

